

今後の汚水処理のあり方に関する検討会（第2回） 議事概要

1. 日時：平成22年5月11日（火） 17:30～18:00

2. 場所：環境省省議室

3. 出席者：

舟山農林水産大臣政務官、三日月国土交通大臣政務官、大谷環境大臣政務官

4. 議事概要

【政務官あいさつ】

○舟山農林水産大臣政務官

各省庁が同じ問題意識を持ちながら前に進める事、またそのための会議が定期的にかかっているということはそれだけでもよいこと。それぞれの問題点を出し合いながら前進していく。こういう手法をこれからもとっていきたい。

【アンケート調査について】

○舟山農林水産大臣政務官

都道府県構想について自治体では、どのような体制で連携し、どのような議論を行い、計画を策定しているのか、知ることが重要と考える。

○三日月国土交通大臣政務官

自治体にとって一番いい選択肢が選べる状況を作り出すことが大切。その実態把握をすることが重要と考える。

○大谷環境大臣政務官

自治体での実態を知るために行うことが必要で、環境意識や自治体財政、住民意識など色々条件がある中、現場でどのように選んでいるかが重要と考える。

【次回予定】

○アンケート(案)の確認。

○水の国際戦略や汚水処理技術の海外展開等についての情報提供を行う予定。